

水耕ネギの培地廃棄量ゼロと省力・多収・低コスト化技術

先端技術を活用した農林水産研究高度化事業(課題番号1629, 平成16年度~18年度)

共同研究機関： 県立農業技術センター・ 県立東部工業技術センター・ 国立大学法人 高知大学
株式会社あべダンボール【KIT21】

問題点

- ウレタン培地が蓄積されています。
4.4m³/10a/年(6作)
- 通路を移動しながら1株ずつ定植・収穫作業を行うため、前傾姿勢が続きます。



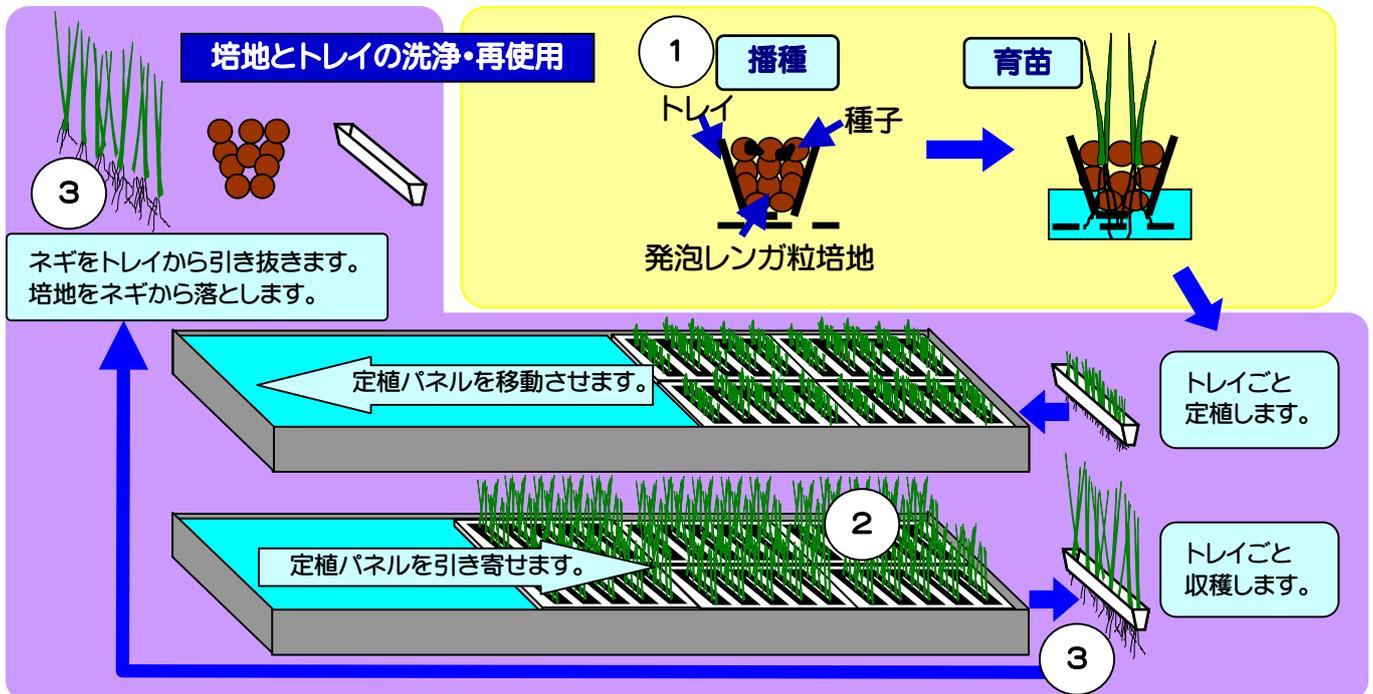
ウレタン培地と
廃棄残さ



ウレタン培地ごと1ブロックずつちぎって
定植穴に定植し、培地ごと収穫しています。

研究概要

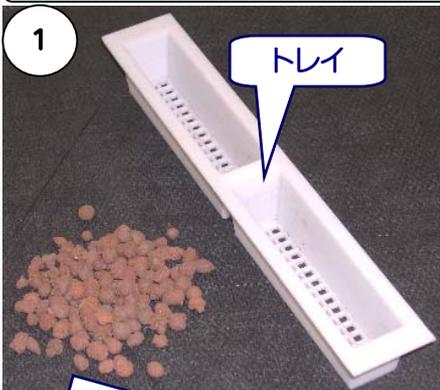
培地廃棄量ゼロと省力・低コスト化を目指す育苗法の開発



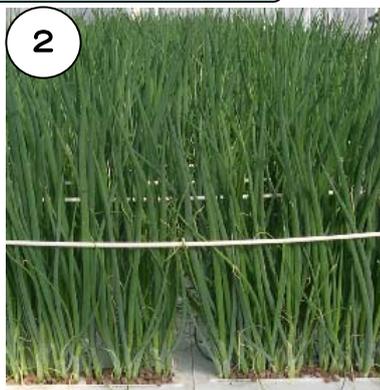
人間工学に基づいた栽培管理器具(定植パネル連結器具・倒伏防止器具・収穫作業台)の開発

栽植密度と栽培環境の最適化(CO₂施用法・養液管理法)による多収技術の開発

トレイと培地並びに栽培状況と収穫作業の様子



培地は、粒径4~8mmの発泡レンガ粒



収穫時の様子
栽培状況



収穫作業台を用いた
収穫・調製作業の様子